



# チャイルド・リサーチ・ネット (CRN) Newsletter vol 6

CRNはインターネット上の子ども学研究所です。  
<http://www.crn.or.jp>



## 震災復興特別号

Special Issue-Supporting Post-Earthquake Recovery

CRNニュースレターvol.6では、  
CRNの東日本大震災に対する活動を中心にご紹介いたします。

### 所長のごあいさつ

CRNニュースレターvol.5の所長メッセージを書いたのは、つい先日のような気がする。しかし、この間に起きた3.11の東日本大震災の出来事は余りにも大きく、「post 3.11」についてはいろいろと考えさせられている。

3.11当日は、私も帰宅難民を体験し、昭和20年の敗戦の時を思い出した。原爆で裸になった広島を歩き、焼夷弾の炎で裸になった岡山、神戸、大阪を貨物列車の石炭の上に乗って通り過ぎ、自宅まで帰った旅を思い出した。しかし、それを乗り越えて、われわれはあの豊かさの時代を作り上げることができたことを忘れてはならない。3.11後も、われわれは英知を傾ければ、必ずや回復できるものと思う。

しかし、それには考えなければならないことがある。少なくとも3.11までは、物質的な豊かさの中に埋没して、何か大切なものを忘れていたような気がする。物質万能主義、拝金主義というような傾向が強かった。3.11以後の社会には、「絆」や「心」などという文字が目につくようになり、それを取り戻そうとする動きが現れたように見える。優しい心、思いやりの心は人と人を関係づけ、心の絆をつくることは明らかである。私たちはそれを尊重して、未来を担う子どもたちを育てることを考えなければならない。

CRNでは、3.11直後から、阪神淡路大震災の経験を生かして、岩手・宮城・福島・茨城で被災した子どもたちの支援と、可能な限りたくさん情報を収集しようと努めている。その究極には、「震災の子ども学」の体系づけがある。震災に関係する子ども問題を、可能な限り学際的、また包括的に調査し、整理して後世に残したいと考えるのである。

CRNにアクセスして下さる皆さまには、いろいろな立場から、「震災の子ども学」の体系づけに是非ご協力をお願いしたい。



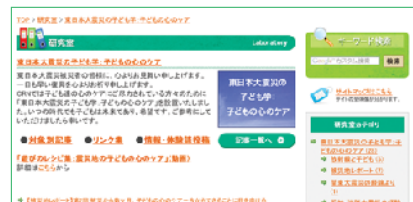
Child Research Net 所長

小林 登

### 東日本大震災後の活動報告

東日本大震災被災者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。CRNでは3.11の東日本大震災を受けて、以下の活動を行っています。

**■東日本大震災の子ども学:子どもの心のケア**  
子どもたちと向き合う保護者の方、教育関係者、行政・支援者別に役立つ記事を掲載しています。必要な情報を必要なタイミングで継続的に収集・発信しています。



### ■DVD「遊びのレシピ集」の制作・配布

東京おもちゃ美術館とチャイルド・リサーチ・ネット(CRN)が共同で、DVD「遊びのレシピ集」を制作しました。身近なものからおもちゃを作って遊ぶヒント集です。東京おもちゃ美術館の多田千尋館長を隊長とする「遊び支援隊」が被災地に赴き、現地にお届けしています。



チャイルド・リサーチ・ネット(CRN)とは?

1996年に設立された非営利のインターネット上の「子ども学」研究所です。「子ども学」を柱として、ウェブサイト(日本語・中国語・英語)で情報を収集・発信し、シンポジウム、講演、プレイショップなどの研究活動に取り組んでいます。世界中の研究機関や研究者と交流しながら、子どもを取り巻く諸問題の解決を目指しています。

# 東日本大震災後の活動報告

東日本大震災被災者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。CRNでは子どもたちの心のケアにご尽力されている方々のために新コーナー「東日本大震災の子ども学:子どもの心のケア」を設置いたしました。いつの時代でも子どもは未来であり、希望です。子どもたちに向き合う保護者の方、教育関係者、行政・支援者別に役立つ記事を掲載していますので、ぜひご参考にしていただけたら幸いです。以下、掲載記事の一部をご紹介します。

東日本大震災の子ども学:子どもの心のケア <http://www.blog.crn.or.jp/lab/06/>

## 「東日本大震災の子ども学:子どもの心のケア」のご紹介

### ●放射線と子ども(全4章) 稲葉 俊哉氏(広島大学原爆放射線医学科学研究所 副所長)

放射線の健康への影響について、子育て中の方々に向けて発信しています。

<http://www.blog.crn.or.jp/lab/06/02/>

#### ◆第1章「放射線の正しい知識」

放射線は身近なものであること、放射線の話をするときは「量」に気をつけること、という2つの「知恵」が大切であると述べています。

#### ◆第2章「放射線の量と健康への影響」

直ちに健康に影響のない量ってなに? 後から出るかもしれない影響とは? という疑問に分かりやすく答えています。

#### ◆第3章「放射線規制値の正しい認識」

瞬間値や規制値ってなに? 数値の基準はどうやって決定しているの? という疑問に対して分かりやすく説明しています。

#### ◆第4章「ヨウ素131と子どもの甲状腺がん」

ヨウ素131と甲状腺がんの関係性、チェルノブイリ原発事故と福島原発事故との共通点・相違点に触れながら、お母さん方へ「過度に神経質になられないように」というメッセージを送っています。



### ●「放射性ヨウ素と海藻類摂取の効果について」

入江 實氏(公益財団法人成長科学協会理事長、東邦大学名誉教授)

放射性ヨウ素に対する海藻類摂取の効果にはさまざまな議論があります。内分泌・代謝学、核医学を専門とする筆者が、1950年代に行った研究結果をもとに、放射性ヨウ素(I-131)と海藻類摂取の効果について紹介しています。

<http://www.blog.crn.or.jp/lab/06/27.html>



### ●被災地レポート【連載中】



吉田 穂波氏(ハーバード公衆衛生大学院リサーチフェロー、プライマリ・ケア連合学会被災地支援チーム(PCAT)派遣医師)

産科医で4人のお子さんを子育て中の筆者が、実際に被災地で派遣医師として活動している経験をもとに、現地のお母さん・妊婦さんのニーズや不安に対するアドバイスや温かく力強いメッセージを送っています。

- 第1回「自然災害時における母親の癒し方・子どもへの接し方」
- 第2回「被災地の妊婦さん・お母さんたちの不安やニーズとその対応について」
- 第3回「被災地の妊婦さん・お母さんたちや子どもたちの心と体のケアについて」
- 第4回「東日本大震災の災害サイクルの特徴」
- 第5回「被災者に寄り添う本当の支援とは」
- 第6回「2011年5月末時点の被災地における子育ての現状と課題」
- 第7回「被災から数ヶ月、子どもの心のケア - 今からできることに目を向ける」

<http://www.blog.crn.or.jp/lab/06/01/>

### ●阪神・淡路大震災の経験より



「季刊子ども学Vol.10(1996)」では、阪神・淡路大震災の復興に向けた動きを、子どもを中心にまとめた「子どもたちの震災復興」として特集しています。新コーナー「東日本大震災の子ども学:子どもの心のケア」では、その中から参考になる情報を一部掲載しています。ご利用いただければ幸いです。

記事や著者プロフィール等は1996年発行当時のものをそのまま掲載しています。「季刊子ども学」は現在休刊しています。

#### 掲載記事一覧

- 「震災後の子どものPTSD」  
奥山 真紀子氏(埼玉県立小児医療センター附属大宮小児保健センター保健指導部医長)
- 「都市災害の中の障害児たち」  
宮本 信也氏(筑波大学心身障害学系助教授)
- 「子どもを守るもう一人の母たち 母母の調査から」  
藤森 和美氏(聖マリアンナ医学研究所カウンセリング部長)
- 「家庭での危機管理 時間的経過によるニーズの変化と問題点」  
林 春男氏(京都大学防災研究所地域防災研究センター助教授)
- 「コミュニティの核としての学校」  
山本 康正氏(駒澤大学文学部教授)

<http://www.blog.crn.or.jp/lab/06/03/>

### ●リンク集

保護者の方々、学校の先生方、行政・支援にあたる方々のために役立つ情報を掲載した他サイトのリンク集です。乳幼児をもつお母さんのための情報や、放射線についての情報など、信頼できるサイトをまとめています。ご参考になれば幸いです。

<http://www.blog.crn.or.jp/lab/link.html>

### ●情報・体験談投稿募集

CRNでは、東日本大震災に関して、皆さまからの情報や体験談を募集しています。父親、母親の立場から、保育園の保育士の立場から、そして幼稚園・学校の先生の立場から、経験したこと、見たこと、考えたこと、実践したこと、小さな研究や調査など、ぜひお寄せいただければ幸いです。詳細は以下のページをご参照ください。

<http://www.blog.crn.or.jp/lab/06/07.html>

#### ★メルマガ登録者募集中

CRNでは隔週でメルマガを配信しています。新着記事や最新のお知らせ、特典つきアンケートのご案内など、メルマガならではの特典もありますので、ぜひご登録ください。

#### ★CRN公式Twitter

新着記事をお知らせしています。こちらぜひフォローしてください。  
[http://twitter.com/crn\\_jp](http://twitter.com/crn_jp)

#### メルマガ登録

メルマガ「CRN通信」を購読しませんか? 子どもにまつわる正しい情報をお届けします。

特典・登録はこちら



保護者の方対象



教育関係者の方対象



行政・支援者の方対象

# 「遊びのレシピ集」のご紹介

東京おもちゃ美術館とチャイルド・リサーチ・ネット (CRN) が共同で、動画「遊びのレシピ集」を制作しました。身近なものからおもちゃを作って遊ぶヒント集です。東京おもちゃ美術館の多田千尋館長を隊長とする「遊び支援隊」が被災地に赴き、DVDにして現地にお届けしています。このDVDは企画から現地へのお届けまで、わずか9日間で、編集・制作をいたしました。おもちゃコンサルタントの方やおもちゃ学芸員の方々10数人が出演し、身近なものを使ったおもちゃ作りから、おもちゃがなくても遊べる手遊び歌まで35種類もの豊富な遊びのレシピを紹介しています。制作にあたっての経緯や想いについても掲載しています。

<http://www.blog.crn.or.jp/lab/belief.html>



▲新聞紙遊びの撮影の様子

## 「遊びのレシピ集」ウェブサイトで公開中!

<http://www.blog.crn.or.jp/lab/asobilist.html>

「遊びのレシピ集」は被災地だけでなく、子どもと関わる方々に広くご活用いただける内容になっており、より多くの方にご利用いただきたいという想いからウェブサイトでも動画コンテンツとして公開しています。ぜひご活用ください。

**紙コップを使ったおもちゃ作り (8種類)**

- ① 紙コップで動物作り
- ② 紙コップでいないいないばあ
- ③ 紙コップでバクバク人形
- ④ 紙コップでマラカス
- ⑤ 紙コップでだるま起こし
- ⑥ 紙コップでけん玉
- ⑦ 紙コップで糸電話
- ⑧ 紙コップでロケット



▲10.ハンカチでバベット遊び



▲21.ひとりあやとり



▲25.トイレットペーパーの芯で釣り



▲34.手遊び歌(じゅうごやさんのもちつきは)

### 関連学会の動向

2011年10月1日(土)・2日(日)に神戸において、第8回子ども学会議学術集会在開催されます。大会2日目は「震災の子どもたちを支える」をテーマとして、午前中に阪神・淡路大震災を経験した兵庫県からの発信を、午後は、東日本大震災から6ヶ月を経た現地からの発信をし、長期的な支援について議論が展開される予定です。

### 概要

テーマ: 育ちと学びを支える  
 開催日: 2011年10月1日(土)・2日(日)  
 会場: 武庫川女子大学 MM館(兵庫県西宮市)  
 大会委員長: 河合優年(武庫川女子大学 教授)  
 大会事務局長: 小花和 W 尚子(武庫川女子大学 准教授)  
 実行委員: 榎原洋一(お茶の水女子大学) 安藤寿康(慶應義塾大学)  
 一色伸夫(甲南女子大学) 関一夫(東京大学)  
 木下 真(木下編集事務所)  
 共催: 武庫川女子大学

## 東アジア「子ども学」交流プログラム

### ■東アジア子ども学交流プログラム第7回 中国鄭州で実施します。

- ・開催日:2011年10月21日(金)・22日(土)
- ・会場:中国 鄭州幼児師範学校

中国での開催は今年で5回目を迎えます。今回は「質のよい幼児教育とは チャイルドケアリング・デザイン」というテーマで行います。

子どものために、幼児教育の質をどう保証するか、チャイルドケアリング・デザインの考え方、日中両国の実践や現状、課題などを比較しながらお互いに学び合うポイントなどについて、日中の学者、幼児教育現場の先生、大学生などを対象に、講演やシンポジウムを行います。いつもご好評をいただいております「グッド・トイ展示会」も同時開催する予定です。

## 刊行物のご紹介

### ■東アジア「子ども学」交流プログラム報告書

2007年に発足したこのプログラムは、2011年で5年目を迎えます。2008～2010年度の活動報告書が発刊されていますので、どうぞご覧ください。ウェブサイトからPDFでダウンロードできます。

<http://www.blog.crn.or.jp/about/publication.html#2>



vol.1



vol.2



vol.3

## CRNのあゆみ

1996年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語・英語サイトオープン</li> <li>・シンポジウム「マルチメディア社会の子どもたち」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回子ども学会議学術集会</li> <li>・英語ウェブサイトリニューアルオープン</li> <li>・中国宋慶齡基金会の招聘を受け小林登所長が講演(中国 上海)</li> </ul>
1997年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム「中高生のデジタルな友達づくり」</li> <li>・ジェーン・グドール博士講演会「チンパンジーの世界と自然のお話」</li> <li>・ジェイ・ベルスキー博士講演会「子どもの発達と家族研究」</li> </ul>	2006年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『CRN YEAR BOOK 2006』発刊</li> <li>・子どもの健康に関する学会にて「食育」をテーマに分科会を開催(中国 長春)</li> <li>・第3回子ども学会議学術集会</li> <li>・中国政府主催のシンポジウムにて小林登所長が講演(中国 上海)</li> </ul>
1998年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際シンポジウム「メディアは子どもをどう育てるのか?」</li> <li>・ジェーン・グドール博士講演会「チンパンジーと自然のお話」</li> <li>・CRNウェブサイト「WEBデザインアワード」銀賞受賞</li> </ul>	2007年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『CRN設立10周年記念号』発刊</li> <li>・CRN設立10周年記念国際シンポジウム「『子ども学』からみた少子化社会」</li> <li>・第4回子ども学会議学術集会</li> <li>・第1回 東アジア子ども学交流プログラム開幕式(中国 上海)</li> <li>・第1回 東アジア子ども学交流プログラム・幼児教育展覧会開催(中国 長沙)</li> </ul>
1999年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開座談会「学級崩壊はしついでくいとめられるのか?」</li> <li>・プレシヨップ「PLAYFUL」</li> </ul>	2008年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語サイトリニューアルオープン</li> <li>・第2回 東アジア子ども学交流プログラム開催(日本 東京)</li> <li>・『CRN ニュースレター vol.1』創刊 *日中英の3言語対応</li> <li>・第5回子ども学会議学術集会</li> <li>・第3回 東アジア子ども学交流プログラム・グッド・トイ展示会開催(中国 杭州)</li> </ul>
2000年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開座談会「『学校』と『家庭』を結ぶもの」</li> <li>・『チャイルド・リサーチ・ネット』発刊</li> <li>・プレシヨップ「Feel the Media」</li> <li>・国際シンポジウム「21世紀の子育てを考える」</li> <li>・『子育てのスタイルは発達にどう影響するのか』発刊</li> </ul>	2009年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『CRN ニュースレター vol.2』発刊 *日中英の3言語対応</li> <li>・『東アジア子ども学交流活動報告書 vol.1』発刊 *日中英の3言語対応</li> <li>・第4回 東アジア子ども学交流プログラム開催(日本 東京)</li> <li>・第5回 東アジア子ども学交流プログラム・グッド・トイ展示会開催(中国 上海)</li> <li>・第6回子ども学会議学術集会</li> </ul>
2001年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレシヨップ「ふゆものがたり ~ プレイフルストーリーをつくろう」など</li> <li>・『CRN YEAR BOOK 2001』発刊</li> <li>・研究拠点「ながやまチーきち」開設(～2002年)</li> <li>・『新しい学びと遊びの実験研究「ながやまチーきち」』発刊</li> <li>・音のワークショップ(～2003年)</li> </ul>	2010年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『CRN ニュースレター vol.3』発刊 *日中英韓の4言語対応</li> <li>・『東アジア子ども学交流活動報告書 vol.2』発刊 *日中英の3言語対応</li> <li>・小林登所長が韓国晋州教育大学にて招聘講演</li> <li>・環太平洋乳幼児教育研究学会(PECERA)主催の第11回学術集会に出席、小林登所長講演</li> <li>・日本語サイトリニューアルオープン</li> <li>・第7回子ども学会議学術集会</li> <li>・『CRN ニュースレター vol.4』発刊 *日本語対応</li> <li>・第6回 東アジア子ども学交流プログラム・グッド・トイ展示会開催(中国 北京)</li> </ul>
2002年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CRN 実践保育研修会「保育の質を考える - 心とからだを育む視点から」</li> <li>・『CRN YEAR BOOK 2002』発刊</li> <li>・プレシヨップ「カラフル王国であそぼう」など</li> <li>・『子ども学研究会』発足(～2003年)</li> <li>・メディアワークショップ(主催:CRN子どもとメディア研究室)</li> <li>・チーきち放送局をつくろう</li> </ul>	2011年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『CRN ニュースレター vol.5』発刊 *日中英の3言語対応</li> <li>・『東アジア子ども学交流活動報告書 vol.3』発刊 *日中英の3言語対応</li> </ul>
2003年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『CRN YEAR BOOK 2003』発刊</li> <li>・『子ども学研究会Report 2002』発刊</li> <li>・『日本子ども学会』設立</li> <li>・『こがねいメディアキッズ』(～2004年)</li> </ul>		
2004年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『CRN YEAR BOOK 2004』発刊</li> <li>・第1回子ども学会議学術集会</li> <li>・チャイルド・サイエンス懸賞エッセイ スタート</li> <li>・中国の子ども研究機関を訪問(中国 北京)</li> </ul>		
2005年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語サイトオープン</li> <li>・『CRN YEAR BOOK 2005』発刊</li> </ul>		



<発行日>2011年9月15日

<発行>チャイルド・リサーチ・ネット(CRN) 〒163-0411 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング13階 (株)ベネッセコーポレーション内

<編集人>後藤憲子

<編集スタッフ>劉愛萍、横井理絵、福嶋美代子、桜井玲子、清水かおり

<デザイン>原宿春夏